

9/22
(金)

鹿児島県で漂流者を救助 タンカー船へ海難救助感謝状

山本汽船(株) 第八十二英山丸 宮崎浩暢船長 (御厨・池田上)

まちの話題



▲宮崎さん(写真右から2番目)と感謝状を送った久木園志布志海上保安署長(写真左から2番目) 感謝状贈呈式は平戸海上保安署で行われ、宮崎さんの子どもたち(写真両端)も駆けつけた



▲救助を行った第八十二英山丸(3,811ト、全長104m)

8月14日10時頃、鹿児島県東串良町の柏原海岸で発生したサーファー行方不明事案にて、宮崎さんが船長を務める同船が沖合で漂流者を発見し、迅速に人命救助を行ったとして鹿児島県志布志海上保安署(久木園茂樹署長)より感謝状が送られました。

14日午後8時30分に搜索要請が出され15日午前中まで湾内を搜索していましたが、沖に出る潮の流れが早く、海岸からおよそ30キロメートル離れた湾外まで流されていました。

15日午後1時、見張りをしていた船員がサーフボードの上で手を振っている人を発見。宮崎さんはすぐに減速して船をUターンし、操船を行いながら救助の指揮をとりました。

宮崎さんは「救助にあたっている時間は無我夢中で、とにかく必死だった。漂流者も、現在は普段通りの生活を送っているとのこと本当に良かったと思っている」と現在の心境を語ってくれました。

9/24
(日)

子ども力士のにぎやかな戦い

願成秋祭 奉納子供相撲



調川町の天満神社で行われたこの行事は、諸願成就と豊作を感謝し、子どもたちの健全育成を願って開催されています。

赤や白のまわしをつけた幼児や児童、生徒約20人が、令和元年に移設された新たな土俵で相撲を奉納しました。

神社では、かき氷やたこ焼き、豪華景品などが用意され、景品をかけ熱戦を繰り広げる子どもたちの元気な声と、相撲を見守る地域住民の笑顔が溢れていました。

9/23
(土)

ふれあい絆を深める

第25回田代地域振興会グラウンド・ゴルフ大会



田代地域振興会(大久保整会長)が主催する同大会が御厨小学校グラウンドで開催され、地域住民ら約60人が参加しました。

大会は、個人戦と5地区対抗の団体戦で行われ、お年寄りから子どもまで幅広い世代が同じ組になり、世代を超えて親睦を深めました。

4年ぶりの開催で、久しぶりにクラブを握る人たちは「加減の分からん」といいながらも、ホールインワンや珍プレーに笑顔を見せ、楽しくにぎやかな声がグラウンドに響いていました。